

大谷2年ぶりMVP

大リーグ初の2度目満票

【ロサンゼルス共同】米大リーグで日本人初の本塁打王に輝くなど投打「二刀流」で活躍した大谷翔平(29)が16日、アメリカン・リーグの最優秀選手(MVP)を2年ぶりに受賞した。日本選手では2001年にマリナーズのイチローが選ばれているが、2度目の選出は初の偉業。2度目の満票は大リーグ史上初。

エンゼルスで6年目の今季、初めて2年連続での「2桁勝利、2桁本塁打」を達成した。4厘、95打点、投手では10勝5敗、防御率3・14、167奪三振の好成績を残し、史上

初めて2年連続での「2桁勝利、2桁本塁打」を達成した。選考はレギュラーシーズンの成績を対象に全米野球記者協会会員30人の投票で決まり、

プレーオフ前に実施された。大谷は18年にプロ野球日本ハムからエンゼルスに移籍し、6シーズンを終えた今オフにフリーエージェントとなった。今年3月のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)では日本を3大会ぶりの優勝に導き、MVPに輝いた。



7月27日の米大リーグ、タイガースとのダブルヘッダー第1試合に投打で先発し、メジャー初完封の9勝目を挙げたエンゼルス・大谷翔平(29)。(共同)



8月23日、44号2ランを放つ米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平。アメリカン・リーグのトップを守り、日本選手初の本塁打王に輝いた。(共同)